



各位

上場会社名 株式会社レイ
 代表者 代表取締役社長 分部 至郎
 (コード番号 4317)
 問合せ先責任者 取締役 中村 準三
 (TEL 03-5410-3861)

業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年4月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年3月1日～平成23年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,000	△240	△270	—	—
今回修正予想(B)	4,100	236	196	33	2.64
増減額(B-A)	1,100	476	466	—	
増減率(%)	36.7	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年2月期第2四半期)	3,772	192	159	78	6.20

平成24年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年3月1日～平成24年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,400	100	50	10	0.79
今回修正予想(B)	8,400	440	375	105	8.24
増減額(B-A)	1,000	340	325	95	
増減率(%)	13.5	340.0	650.0	950.0	
(ご参考)前期実績 (平成23年2月期)	8,430	570	509	295	23.19

修正の理由

第1四半期以前においては東日本大震災による原発問題に端を発した電力事情や風評被害により景気の先行き不透明感が強まっていたため、業績予想を据え置いていましたが、第2四半期に入り、それまで不振だった機材レンタル部門やS・P・イベント部門は事業環境に一定の改善が見られ、予想以上に受注が堅調に推移いたしました。ポストプロダクション部門やTVCM部門も引き続き堅調でした。また、従来より取り組んでいるコスト管理の徹底による事業の採算性向上、及び機材等の効率化による生産性の向上等の施策の効果もあり、売上高、営業利益、経常利益とも前期を上回る見込みです。

しかしながら、純利益につきましては特別損失の発生(本日公表「特別損失の計上に関するお知らせ」参照)により、前期を下回る見込です。

また、通期連結業績予想につきましては、上述の通り、第2四半期連結累計期間においては、東日本大震災の影響度は想定より少なく、また回復も想定より早かったため、予想を上回ることができましたが、通期においては、当社グループを取り巻く経済環境は完全に復活しているとは見込み難しく、例年繁忙期である第3四半期及び第4四半期において、若干の苦戦も予想されており、第2四半期までの堅調さを望めない状況となっております。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成23年4月15日発表)	—	0.00	—	0.00	0.00
今回修正予想	—	0.00	—	2.00	2.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成23年2月期)	—	0.00	—	4.00	4.00

修正の理由

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつとして認識しております。また、当社グループは連結経営をベースとしており、グループ各社の将来の事業展開に必要となる設備機材等の投資や、経営体質強化のためのグループ内部留保に配慮しつつ配当性向を意識し、業績に応じた適正な利益配分をおこなうことを基本方針としております。よって、上記業績予想の修正に伴い、平成24年2月期の期末配当金(年間配当金)の予想を2円に修正することとさせていただきます。

※本業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上